

試料凍結装置(UT2000F)の取扱説明書



使用方法

- ①. 溶媒排出コックが閉じていることを確認する。
- ②. 溶媒を冷却槽に入れる。
- ③. 本体の電源を入れる。
- ④. 試料を凍結する。
- ⑤. 電源を切る。
- ⑥. 溶媒を抜く。

①.溶媒排出コックが閉じていることを確認する。

本体向かって右側面のオレンジ色の排出コックを閉じる。

②.溶媒を冷却槽に入れる。

ヘキサンとペンタン(またはイソペンタン)を混合して使用する。

ヘキサン800 ~ 1000ml
ペンタン	...500 ~ 300ml
合計	約 1300ml

※ヘキサンは-93℃付近で凍結するのでペンタンを混合することで液状をキープすることができる。



(冷却槽内)

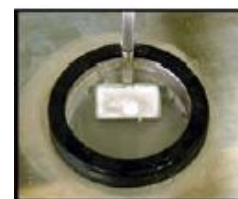
③.本体の電源を入れる。

約90分で、-100℃ぐらいに到達する。

④.試料を凍結する。

包埋容器に試料を入れて凍結する。

※大きな試料は、前段階で試料本体だけを凍結したり包埋剤を絡めて凍結後、包埋剤中に入れて凍結する。



⑤.電源を切る。

⑥.溶媒を抜く。

- ・側面の廃液ホースを元の溶媒ビン(ヘキサン)に刺し込み赤いコックをホースの向きにひねる。
- ・最後まで溶媒が排出されたら、コックを元に戻す。
- ・抜き取った溶媒は繰り返し使用することができます。



装置側面(廃液ホース)